

聴覚障害がある子どもへの職業訓練 ～芸術的な才能を伸ばし、 選択肢を広げるプロジェクト～

Sri Lanka スリランカ

氏名

W.G. Sanjeewa Aruna Kumara Rajapakshe サンジーク (23期)

所属団体

センカダガラ盲聾学校



現在、私たちが運営している特別支援学校では、子どもたちへの教育を行うとともに、将来、子どもたちが自立して生活できるよう職業訓練も行っています。本プロジェクトでは、すべての子どもにさまざまな職業の選択があることを伝え、芸術的な才能を伸ばす職業訓練を行いました。

所属組織の概要

視覚障害の子どもたちと聴覚障害の子どもたちが点字や手話を通じて教育を受けることができるよう、特別支援学校を運営しています。また、教育だけではなく職業訓練プログラムも実施し、将来、自立した生活を送ることができるように支援しています。

事業の目的

本プロジェクトの目的は以下のとおりです。

- 障害があっても、さまざまな職業の選択肢があることを子どもたちに伝える。また、具体的なイメージを持つため、今後のキャリア形成のひとつの選択肢を提示する。
- このプロジェクトに参加した子どもたちに証明書を与え、自分の学びについての自信をつける。
- 絵画の展示や、絵画の販売を通じ、社会とのつながりをつくる。

活動地域

キャンディにあるセンカダガラ特別支援学校

対象者

センカダガラ特別支援学校で学ぶ1年生～11年生までの聴覚障害のある児童全員（76名）



事業の成果

- ・聴覚障害がある子どもたちが、「自分の将来には多くの選択肢がある」ということを知り、前向きに将来を考えることができるようになりました
- ・子どもたちが将来自営業として芸術的な活動を選択した場合、収入源として生活していけるスキルを身に付けることができました。
- ・絵を描くことが苦手な子どもたちも、訓練を継続することで教師から高評価を得る経験ができました。その経験を通じ、諦めずに継続することの大切さを学び、それができたという自信につながりました。

実施内容

2024年4月22日～7月19日

このプログラムの目的を伝え、将来の職業選択の一つとして、聴覚障害のある生徒76名を対象とした芸術活動の職業訓練（美術）をスタートしました。最初は画材を子どもたちに渡し、使い方を学びます。絵を描くことが苦手な子どもも諦めずに訓練を続け、上達したことを評価する声かけをしました。



2024年7月22日～10月18日

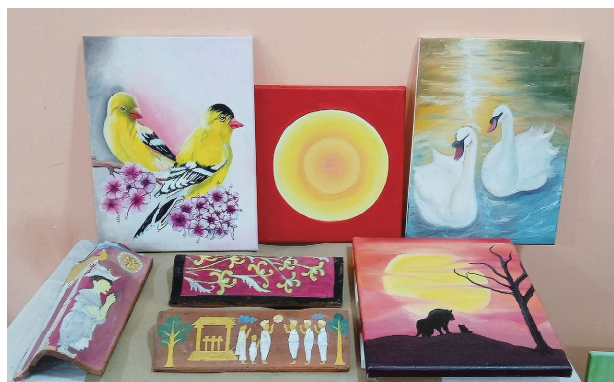
4か月の訓練を踏まえ、子ども達のなかで、美術をもっと学びたいという意欲のある子どもと、将来芸術活動で収入を得られる可能性のある子ども達に限定し、訓練を続けました。

小グループに分かれ、より高度なテクニックを学びます。



2024年10月21日～2025年2月14日

前期までの訓練の時間に制作した美術作品を教師の間で評価し、芸術的な才能を感じる25名程度の子どもたちをさらに選びました。選ばれた子どもたちはキャンバスボードに絵を描き、150点もの作品を完成させました。



今後の展望

今後も、職業選択のひとつとして、芸術活動につながる訓練も継続していきたいと考えています。また、本人の意向と才能を丁寧に見極め、将来につながる専門的なスキルを獲得できる場所であり続けたいです。

今回のプロジェクトで制作した子どもたちの絵は、教師が広報を行い、販売していくことを予定しています。この収益は、制作した子ども本人に渡すことで社会とのつながりや自信を持たせたいと考えています。

将来的には、芸術的な才能を伸ばす活動に対する基金の設立をめざしたいです。

収支報告

〈収入〉

項 目	金額 (円)	内 訳
全社協からの助成金	284,125	
合 計	284,125	

〈支出〉

項 目	金額 (円)	内 訳
画材道具	162,400	アクリル絵の具 19,800円
		白紙代 6,600円
		絵筆代 36,000円
		パレット代 15,000円
		木製フレーム代 16,250円
		木綿布代 12,500円
		キャンバスボード代 56,250円
謝礼金	35,000	
証明書	10,000	
展覧会費用	20,000	
交通費その他経費	56,725	
合 計	284,125	

注) 送金額 (日本円) と受領額 (LKR) から算出 (送金時点2024年5月15日)
換算レート: 1スリランカルピー≒0.48円